

目 次

幼稚園教育における援助のあり方(2)

— 個と集団の変容をめぐる問題点と教師のかかわり方 —

I 研究の意図	1
II 研究の内容・方法	1
III 課題による実践的研究の概要	2
研究課題A A男の自己表現力を伸ばす援助のあり方	2
— 自然とのかかわりを中心に	
A男の心の動きや思いを見つめて — (4歳児)	
研究課題B 社会性を育てる援助のあり方	8
— 子供同士のかかわり方を中心に — (5歳児)	
研究課題C 一人ひとりが意欲的に遊びに取り組む学級集団, その援助のあり方	14
— 共通課題による活動の機会や場を中心に — (5歳児)	
研究課題D 自発的・自主的な活動を促す環境構成のあり方	20
— いきいきと活動する4歳児を求めて — (4歳児)	
IV 研究のまとめと今後の課題	26
1 「援助」の意味・必要性の見直し	26
2 研究主題の基本姿勢	26
3 各研究課題で中心となった討議の視点	27